我孫子市長を講師にお迎えし、
「中央学院あびこプロジェクト（CAP）」のスタートアップ授業を行います

◎地域協働型探究学習プログラム「中央学院あびこプロジェクト（CAP）」

本校は今年度から、１年生進学コースを対象に、我孫子市全域をフィールドとする新しい探究学習プログラム「中央学院あびこプロジェクト（CAP）」を実施しています。約１年間をかけて、生徒が農業・歴史・環境・福祉など１０の分野で、フィールドワークや市内の店舗・団体・行政・企業等への直接のインタビューを行い、地域の魅力と課題を発見して、課題解決のための提案を生み出すことを目標としています。２年生の２学期には、その提案を我孫子市に向けて発表することを目指しています。

本プログラムは、地域の魅力や課題を、生徒が自分の目と耳で発見し、地域貢献・探究スキルを向上させることを目的としています。その第１回となるスタートアップ授業に、我孫子市の星野順一郎市長と市職員の方を講師としてお迎えします。「我孫子を知る」をテーマに実施するにあたり、本校から我孫子市にご協力をお願いしたところ、生徒自身に我孫子市の魅力や課題にもっと関心を持ち、愛着を抱いてほしいとのお考えから、ご協力いただけることになりました。

◎本プログラムに込めた思い

本校の総合探究では、「社会との関わり方をイメージし、将来の道を切り開く」ことを大切にしています。身近な地域社会である我孫子市に自ら足を運び、人と出会い、話を聞くことで、社会を身近に感じ、実際に関わる体験を重ねてほしいと願っています。さらに、我孫子市の魅力の発信方法や課題の解決策を考えることを通して、我孫子市を応援し、社会に貢献できる人に育ってほしいという思いも込めています。

【授業実施概要】

日時：令和８年１１月１１日（水）午後３時２０分～４時３０分

場所：本校体育館

参加生徒：１年生進学コース（約２０５人）

内容：①「我孫子市の推しと課題」　②「我孫子市の今」　③「我孫子市をつくってきた風土」

講師：星野　順一郎 市長

稲村　隆 氏（我孫子市教育委員会　生涯学習部　文化・スポーツ課）

協力：一般社団法人　Eureka coco（代表：澤田 直子 氏）